

ミズゴケ科

ヒメミズゴケ

Sphagnum fimbriatum Wils. ex Wils. & Hook.f.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

■ 県内分布

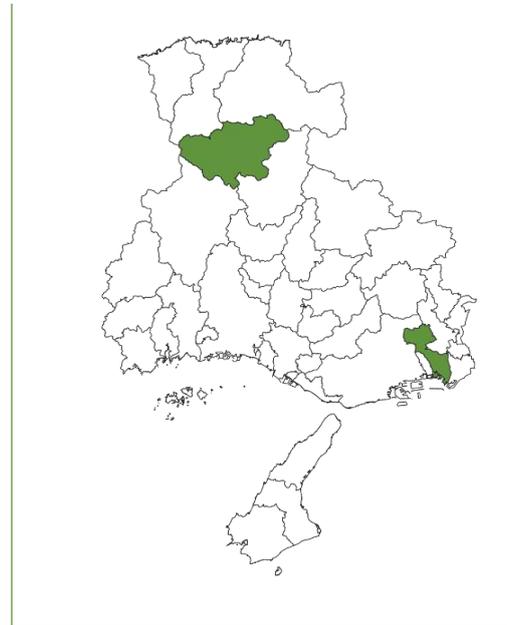
西宮市、養父市

■ 国内分布

北海道、本州

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性	
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布	
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界	
		希少	○



■ 特記事項

西宮市の生育地は、湿原の荒廃(ササによる被陰)により再確認できず絶滅したことを確認。氷ノ山では旺盛な生育を確認。



写真提供:秋山弘之

■ 保護上の留意点

-

■ 種の概要

小型の植物体の特徴。茎葉は先端だけでなく側方までさきくれる。透明細胞はふつう薄い壁で2-4個に仕切られる。枝葉はふつうチャミズゴケよりも長い。枝葉の形や葉緑細胞の横断面等はよく似ている。雌雄同株。低山地から亜高山帯の中間湿原にふつうにみられる。